

なんか

# やってま〜す

ナンバー 009

発行 平成 23年11月

発行元 坂井市社会福祉協議会

坂井市社協福祉委員幹事会



～福祉委員情報紙～

## ある日の様子

今年の夏休み、三年目となる「ミニ学童」を開きました。27名の児童が集まりました。月・水・金の3日間、9時半からの1時間はみんな静かに夏休みの宿題です。その後11時半くらいまでいろいろな遊びをして過ごしました。その中で感じた事は、福祉委員をはじめ関わって下さった人達の中に脈々と流れているボランティア精神と子供達に対する深い愛情でした。また、お孫さんを家で見ておられるおじいちゃん、おばあちゃんからもその時間だけは身体も休められるしゆっくり買い物もできると喜ばれ、また父母からはやんちゃ坊主を預けて申し訳なく思っているが、「ミニ学童」のある日はなぜかほっとするとの声もいただきました。ちょっとした思いから始めたことですが、知らない間に三世代がうまく繋がっていたのだなととても嬉しくなりました。福祉委員として、これからもゆっくり、優しく、楽しく世の中のいろんな出来事に目を向け活動につなげて行きたいと思っています。



### ～三国町新保福祉の会の説明～

新保福祉の会は約350世帯で、福祉委員は現在9名います。上記のミニ学童の他にも春のレクリエーション大会（三世代交流）やひなまつりのつどいなど、まち協とも連携を取りながら活動をすすめています。

福祉委員 大蔵富男（丸岡町）さんに

## 聞いてきたぞ～

### 「Q救セットで要援護者支援」

竹田地区では、福祉委員の呼びかけで、市社協の協力を得ながら、区長、民生委員・児童委員、せせらぎの会（地区ふくしの会）会長を交えて、地域独自に要援護者に対して緊急時の支援策に取り組みました。65歳以上の一人暮らしの人、家族と同居の75歳以上の日中独居の人を対象とした福祉マップをつくり、自宅で救急車を必要とするような状態になった時にこのQ救セットに入っている緊急連絡先・医療情報を活用するものです。救急搬送時に役立ててもらうように、消防署とも連携しています。

#### Q救セットって何？

①緊急連絡カード ②保管用の容器 ③表示マグネット ④表示シール

『S救セット』は、①『緊急連絡カード』に緊急連絡先や持病、かかりつけ医等を記入して②保管用の容器に入れ③表示マグネットを貼った④冷蔵庫に保管しておくものです。室内には④表示シールも貼っておきます。

自宅で救急車を必要とするような状態になった時に、この情報を活用するものです。



福祉委員3年目。福祉委員はどの様なことをするのか？福祉とは？・・・わからず戸惑っていた2年間。初めて壮年会を中心に老人会を向かえて「健康体操、手打ちそば、おしゃべり」と楽しいひと時を過ごしました。このサロンを通して感じるのには人それぞれ「十人十色」で考え方の違いやその時の環境の違いがあり、悩みにも個人差が有ることです。だからこそ、このサロンを「ふれあいの場」にし世間話の中から相手の立場を考え、「困ったときはお互い様」を基本に、お互いのつながりと思いやりを持って支えあうことが必要です。手助けが必要なきにそうと手助けをする、その自然体の中で「目配り、気配り」が大切です、親切が大きなお世話にならぬように・・・それが福祉の（心の）絆だと感じました。

サロン 始めました！

春江町 坪内優三

# 幹事さんに きいてみよう



《キーワード》  
福祉マップ

近頃、あちこちの会議で「マップを作るだけじゃもったいない。」という声を聞くようになりました。「聞いてきたざ〜」のように、地域独自で福祉マップをひと工夫しながら、福祉活動に役立っている事例も増えてきています。



大切なのは知っているのですが、マップをつくるのに、情報をあまり知らなくて…。

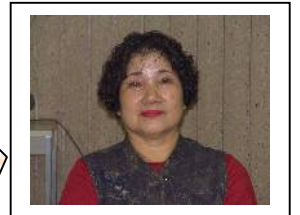
確かに情報収集は必要ですが、大事なのは「自分が今何を  
知っていて、何を知らないのか」を知ることだと思います。  
「この家のことがわからんわー」と気づけばそこに意識  
が向き、日頃の生活で注意してみるようになります。福祉  
委員の情報収集はその積み重ねだと思います。



マップを持って帰ってもどう活用していいのか悩んでいます。

活用については表面の「聞いてきたざ〜」のような見守りのための訪問の際に使用したり、地域のことを話し合うときのきっかけとしても活用できます。

また、地域の情報が目に見える形として残るマップは任期交代の時の引き継ぎの際にも役立ちますね。



## 社協情報

掲載等のお問い合わせは

みくに支部	Tel	82-1170
	Fax	82-1593
まるおか支部	Tel	68-5060
	Fax	67-2950
はるえ支部	Tel	51-4545
	Fax	51-6269
さかい支部	Tel	67-0640
	Fax	67-2807

十月二日（日）、坂井木部地区まちづくり協議会主催で、「ふれあいデー」が開催されました。当日は民生委員や福祉委員が中心のすやか福祉部会、東日本大震災支援チャリティバザーを開催しましたが、事前に区民の皆さんに通知したこともあって、バザー商品の提供には関係者にバザー商品の提供に協力していただく方が多く、心優い温かさに触れることができた。また予想以上に集まった商品に協力しても、ふれあいデー参加者のよかつたとの想いを強くしました。よかつたとの想いを強くしました。募金は東日本大震災義援金として、坂井新聞社に託しました。地震災害の話題もあられだけ騒がれたが、話題も時間とともに風化しがちですが、五十年と息の長い「自分の支え」を続ける無理のない「身の丈」を続けたいですね。

坂井町 関輝勝